

## 小金井北高等学校令和5年度 公民科 倫理 年間授業計画

教科：公民科 科目：倫理 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

使用教科書：「高校倫理」（実教出版）

使用副教材：「テオリア最新倫理資料集改訂版」（第一学習社）

|    | 指導内容                                       | 倫理の具体的な指導目標   | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数 |
|----|--|---|--|----------|
| 4月 | オリエンテーション                                  | 「倫理」を学ぶ意義を考える。  | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 6        |
|    | 日本人のものの考え方の基底にあるもの                         | グローバリズムの進展する現代日本に生きるなかで、日本・日本人、日本の文化・日本人のものの考え方の特徴を考える。 |  |          |
|    | 和辻風土論                                      | 世界各地の文化の特徴を考える手がかりとして、和辻哲郎の風土論について考える。                  |  |          |
|    | 記紀神話の考察                                    | 日本人のものの考え方の原点にあるものを、記紀神話から考察する                          |  |          |
|    | モンスーン地帯の無神論－仏教                             | 日本の文化に大きな影響を与えた外来思想である仏教について考える                         |  |          |
| 5月 | 仏教の日本的受容－鎌倉仏教を中心に                          | 日本は仏教をどのように受容したか考える                                     | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 4        |
|    | 自然・家族・共同体・国家－古代中国の思想                       | 日本の文化に大きな影響を与えた外来思想である儒教思想について考える。                      |  |          |
|    | 儒教の日本的受容                                   | 日本は儒教をどのように受容したか考える                                     |  |          |
|    | 西欧思想の受容                                    | 明治維新以降、西欧近代の思想をどのように受け入れていったかを考える。                      |  |          |
|    | 中間考査                                       |   |  |          |
| 6月 | 牧場地帯の哲学－古代ギリシア思想(1)ギリシア神話の世界／(2)ミュトスからロゴスへ | 西欧文化の源流の一つであるギリシアの思想史をたどる意味を考える                         | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 6        |
|    | 古代ギリシア思想(3)ピュシスからノモスへ／(4)ソクラテス             | ギリシアでの哲学の発展の流れを確認し、ソクラテスの思想の意義を考える。                     |  |          |
|    | 古代ギリシア思想(5)プラトン／(6)アリストテレス                 | プラトン・アリストテレスの思想の意義を考える。                                 |  |          |
|    | 砂漠地帯の－神教：キリスト教(1)ユダヤ神話／(2)イエスの思想           | 西欧文化の源流の一つであるユダヤ・キリスト教の思想について考える。                       |  |          |
|    | キリスト教(3)世界宗教へ／イスラーム                        | キリスト教の思想の普遍性と、イスラームの思想の特徴について考える。                       |  |          |

|     | 指導内容                           | 倫理の具体的な指導目標                                     | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数   |
|-----|--------------------------------|---|--|--|
| 7月  | 期末考査                           |   | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 8  |
|     | 源流思想の「愛」についての考査                | 1学期の授業の復習として、源流思想の「愛」について、グループワークなどを通じて、考査を深める。 |  |  |
|     | 源流思想の「愛」についての意見交換              |   |  |  |
|     |                                |   |  |  |
| 9月  | 西欧近代思想の二つの源流：砂漠的思考と牧場的思考／ルネサンス |   | 古代ギリシアの思想・古代キリスト教の思想の二つの源流から、西欧近代の思想が生まれてきたことを考える。                                       | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 |
|     | ルネサンスの限界：宗教改革へ／ルター思想           | ルネサンスの意義と限界、宗教改革の歴史的な意義を考える。                    |  |  |
|     | カルヴァンの思想／M.ウェーバーの考査            | ルター・カルヴァンの思想と個人の尊厳について考える                       |  |  |
|     | 科学革命／経験論                       | カトリック教会の精神的支配からの解放としての「科学革命」について考える。            |  |  |
|     | ベーコンの自然観・人間観                   | 科学革命の延長にある人間理性への信頼を、ベーコンの思想を通じて考査する             |  |  |
| 10月 | デカルトによる近代的人間観の確立               | 近代的人間観の基礎となるデカルトの「コギト」の考査                       | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 8  |
|     | 中間考査                           |   |  |  |
|     | 個人から社会へ／社会契約説                  | 近代的個人によって形成される「社会」の在り方を考査する。                    |  |  |
|     | ルソーの思想／カントの哲学                  | ルソーの社会契約論・一般意志について考査する                          |  |  |
|     | カントの道徳哲学「個人の尊厳」                | カントの人間観を考える                                     |  |  |
| 11月 | ヘーゲル：家族・国家・世界                  | ヘーゲルの歴史観を考える。                                   | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 8  |
|     | 市場経済の発展：アダムスミス／功利主義            | 資本主義経済の発展の過程での新たな道徳観について考える                     |  |  |
|     | マルクスの思想                        | マルクスの疎外論・人間観・社会観・歴史観について考える                     |  |  |
|     | 実存主義の誕生と展開                     | 実存主義とは何か、なぜこのような思想がうまれてきたのかを考査する                |  |  |
|     | 意識しないコギト：フロイト／フランクフルト学派        | 近代的な「理性を持つ個人」という考え方への批判として新たな思想を考える。            |  |  |

|     | 指導内容               | 倫理の具体的な指導目標  | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数 |
|-----|--------------------|--|--|----------|
| 12月 | 構造主義／それ以降          | 現代思想の展開を考察する。  | 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を、定期考査、レポートやノートなどの提出物、グループワークなどでの意見交換などを通じて総合的に評価する。 | 6        |
|     | 期末考査               |  |  |          |
|     | 「倫理」の授業を通じての自分の気づき | 「倫理」の授業のまとめとして、思想史を学んで自分の「人間観」「世界観」などについてどのような気づきがあったか、グループワークなどを通じて、考察を深める。 |  |          |
|     | 意見交換会              |  |  |          |
|     |                    |  |  |          |
| 1月  |                    |  |  |          |
| 2月  |                    |  |  |          |
| 3月  |                    |  |  |          |

小金井北高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 政治経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

使用教科書：(実教出版 改訂版 政治経済)

使用教材：(資料集 浜島出版 最新図説政経)

|    | 指導内容  | 科目政治経済の具体的な指導目標   | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数 |
|----|---|---|--|----------|
| 4月 | 政治制度と法の支配、人権保障の発展                                 | 生徒が政治についての基本的な見方や考え方を身に付け、法の支配や国民主権、権力分立制など、民主主義の基本原則の意義と成り立ちについて理解させる、また人権がいかなる歴史のもとで作られてきたかを理解させる。  | 民主主義の基本的な考え方などをワークなどを通じて理解できるように工夫するとともに、評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。   | 6        |
| 5月 | 各国の政治制度   | アメリカの大統領制やイギリスの議院内閣制など中心に政治制度について理解を深めるとともに、ドイツ、フランス、中国などの政治制度についても触れることとする。<br>また、日本とイギリスの制度を比較することにより理解を深める。  | 各国の政治制度の違いをワークなどを通じて理解できるように工夫するとともに、評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。   | 4        |
| 6月 | 選挙制度、世論と現代民主主義の課題                                 | ・戦後政治の流れと日本の特徴、政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治がかかえる問題について考える。  | 戦後の日本の政治において何が争点になってきたか理解させ、1993年の55年体制の崩壊以後国民は何を学んできたか考えさせる。選挙制度のしくみを現在の実情と併せて理解させる。<br>評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。 | 6        |
| 7月 | 資本主義経済の発展とその変容、家計・企業・政府の役割<br><br>市場機構とその限界、物価の動向 | ・経済活動の特徴、資本主義経済の発達と変容、資本主義経済の特徴について学習し、経済活動の意義について考える。さらに、経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。<br><br>・経済主体の役割、市場のしくみ、市場機構が需要と供給の不均衡の調節を通じて資源配分を行っていることについて考える。 | 練習問題などで理解の深化をはかるとともに、評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする  | 8        |
|    | 国民所得と国富   | ストックとフローの概念をおさえるとともに、国内総生産や国民所得などの指標などに関心が向くように工夫する。  | ・現在の日本経済の動向に対する関心が高まっている   | 2        |

|     | 指導内容                        | 科目政治経済の具体的な指導目標  | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数 |
|-----|-----------------------------|--|--|----------|
| 8月  |                             | また、GDP指標の限界にも気づかせ本日の豊かさを考える参考にした。  | ・市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。   |          |
| 9月  | 金融のしくみと働き                   | 通貨制度について触れるとともに、通貨の役割について考えさせる。また通貨制度である金本位制と管理通貨制度の違いについて理解させる。中央銀行の機能と金融政策について考察し、現行の金融政策まで取り上げることとする。<br><br>金融ビッグバンに代表される金融の自由化について触れ、現在の金融システムの課題について考察することとする。 | ・現在の日本経済の動向に対する関心が高まっている。<br>・市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。  | 8        |
| 10月 | 財政のしくみと課題                   | 財政のしくみと歳入歳出の推移を比較させ、考察させる。また財政の3つの役割を理解させるとともに現在の日本の財政状況などを考える。  | ・現在の日本経済の動向に対する関心が高まっている。<br>・市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。  | 8        |
| 11月 | 日本経済の歩み                     | 終戦期からの日本経済の歩みについて、物価や当時の生活などをイメージができるように工夫しながら進めていく。高度経済成長から安定成長へ、またプラザ合意からバブル崩壊、近年のアベノミクスまで取り扱うこととする。   | ・現在の日本経済の動向に対する関心が高まっている。<br>・前章までで考察してきた、基本原理を実質の経済の中で考える機会として、日本の終戦期以降の経済について振り返る。具体的には高度成長から安定成長、バブル経済からバブル後の不況といった戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲が見られかどうかを評価の観点とする。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。 | 8        |
| 12月 | 中小企業と日本経済<br><br>日本の農業・食糧問題 | 中小企業の地位と役割についてふれるとともに、中小企業の問題について考えることとする。またこれからの中小企業の進む道を生徒とともに考えたい。<br><br>第二次世界大戦後の農地改革から、日本農業のおかれた状況について考察し、これからの農業のあり方について考えさせたい。                               | 戦後日本経済史との関連の中で、中小企業や農業問題、公害問題など日本経済の課題を考察しているかどうかの観点で評価をつける。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。  | 6        |
|     | 日本の農業・食糧問題                  | 第二次世界大戦後の農地改革から、日本農業のおかれた状況について考察し、これからの農業のあり方について考えさせたい。  | 戦後日本経済史との関連の中で、中小企業や農業問題、公害問題など日本経済  | 4        |

|        | 指導内容 | 科目政治経済の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法   | 配当<br>時数 |
|--------|------|-----------------|--|----------|
| 1<br>月 |      |                 | 題、公害問題など日本経済の課題を考察しているかどうかの観点で評価をつける。評価においては、授業中の発問やテストなどで評価するものとする。 |          |
| 2<br>月 |      |                 |  |          |
| 3<br>月 |      |                 |  |          |